

令和4年度(2022)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業計画



出雲芸術アカデミー講師によるアウトリーチ

令和4年(2022)2月25日

目 次

I 基本方針 II 主な事業(要旨)	P1
III 公益目的事業	P2
1. 芸術文化振興事業	P2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	P2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	P5
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	P8
2. 博物館事業	P9
(1) 展示事業	P9
① 出雲文化伝承館 ② 平田本陣記念館	
(2) 出雲和文化交流会事業	P13
(3) 郷土資料調査活用事業	P13
(4) 呈茶事業	P13
(5) 文化財保存公開事業	P14
(6) 共催事業	P14
3. 貸館事業	P15
(1) 出雲市民会館	P15
(2) ビッグハート出雲	P15
(3) 平田文化館	P16
(4) 大社文化プレイスうらら館	P16
(5) 出雲文化伝承館	P17
(6) 平田本陣記念館	P18
(7) 管理施設の概要	P19
IV 収益事業	P21
1. 貸館事業	P21
(1) 出雲市民会館	P21
(2) ビッグハート出雲	P21
(3) 平田文化館	P21
(4) 大社文化プレイスうらら館	P21
(5) 出雲文化伝承館	P21
(6) 平田本陣記念館	P21
2. チケット販売等物販事業	P21
3. 大社図書館管理事業	P21

令和4年度(2022)事業計画

I 基本方針

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成25年度に公益法人となり令和4年度新法人移行後10年目を迎えました。

本年度も芸術文化振興事業、博物館事業のほか、出雲市から指定管理者として指定を受けている6施設(※1)の貸館・管理運営事業などの公益事業を中心に、出雲市における芸術文化振興の中核を担う公益法人として『文化芸術基本法(※2)』の趣旨等に沿い、多様な文化の発信を行うほか、市民をはじめ広く文化活動の場を提供するとともに、次世代育成事業にも積極的に取り組んでいきます。

なお、新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化しているところですが、国、島根県、出雲市及び業種別ガイドラインなど最新の情報を確認し、安全確保に細心の注意を払い、感染拡大防止に努めてまいります。

※1 指定管理6施設

- ・出雲市民会館をはじめ、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館のホール系4施設
- ・伝統的な家屋、茶室、出雲流庭園などにより和風文化を感じることができる出雲文化伝承館、平田本陣記念館の展示系2施設

※2 文化芸術基本法(平成29年6月23日公布・施行)

- ・法の趣旨：「1. 文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を法律の範囲に取り込むこと」
「2. 文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用すること」

II 主な事業(要旨)

芸術文化振興事業については、「音楽のまち出雲」の推進のため、平成30年度から創設された「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の活用を予定し、「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」等の公演事業及び出雲芸術アカデミーの充実を図ります。

また、鑑賞事業として、オペラシアターこんにやく座オペラ「森は生きている」や「航空中央音楽隊コンサート in 出雲」、「神田伯山 独演会」を開催します。

なお、出雲芸術アカデミーでは、講座運営や、アウトリーチ活動、演奏会などを通して芸術文化を学ぶ機会を提供しつつ次世代の芸術文化の担い手育成に努めます。

博物館事業については、出雲文化伝承館と平田本陣記念館両館合わせて10回の展覧会を開催し、伝承館では、「出雲の漆と金工の世界」展、本陣記念館では、「はしもとみお展」など幅広い分野の優品を紹介します。

貸館事業については、各館の特色を十分にいかすとともに、各館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な管理運営を行います。

Ⅲ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

公益目的事業の中心となる芸術文化振興事業は、所管する施設の特色を生かしながら鑑賞機会の充実・拡大、芸術文化活動の促進など芸術文化を通じた幅広い取組による普及・推進を図ります。

事業実施に当たっては、文化庁の劇場・音楽堂等機能強化推進事業の活用を予定し、自主事業である「出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」等の公演事業の充実を図ります。

また、出雲芸術アカデミーにおいては、文化庁の同補助事業も活用して、安定的な運営に努め、充実した講座内容による人材養成事業及び出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業を積極的に展開します。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

鑑賞事業では、「本物志向」の観点から多彩で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

次世代鑑賞者育成事業では、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した公演として、オペラシアターこんにゃく座オペラ「森は生きている」を開催します。

音楽の分野では、令和3年2月に創設60周年を迎え、



神田伯山

これまで数多くの国家行事及び国際イベントに参加している航空中央音楽隊を招聘し、「航空中央音楽隊コンサート in 出雲」を開催します。このコンサートの前には、島根県吹奏楽連盟出雲支部とタイアップし、50名程度の市内中高生に対して、クリニック（演奏指導）を実施します。

演芸の分野では、新進気鋭の講談師として注目を浴び、大名跡を継いでいる「神田伯山 独演会」を開催します。

また、芸術文化に触れることのできる鑑賞事業の幅を広げることを目的に、「秋川雅史&杜の音シンガーズ」（宝くじ文化公演）、「笑い飯 漫オツアー」（日本海テレビ）、「英国近衛軍楽隊コンサート」及び「H ZETTRIO ジャズコンサート」（関係音楽事務所）との共催事業にも積極的に取り組みます。

自主事業である「神在ガラコンサート（仮）」では、連作交響神楽シリーズの集大成となる第6番《國譲》（2023年実施予定）に参加する声楽家を中心に、オペラから日本の合唱曲まで多彩な楽曲を披露します。また、「神話ってなあに（仮）」では、改めて神話や神事について知る機会を設け、出雲オリジナルの文化芸術作品である連作交響神楽について広く理解を深めます。

一方、地元住民等を中心とする実行委員会による自主事業については、継続的な取組の蓄積を生かしつつ、事業の点検や評価によりさらなる事業効果が発揮されるよう促します。あわせて、市内文化団体、地域文化活動との連携、協働により優れた芸術文化活動の担い手の育成、芸術文化を通じた地域活性化を図ります。

こうした事業の実施に当たっては、多様なメディアによるタイムリーな情報を発信し、市民の関心を高め参加を促します。事業後には市民アンケート等により把握した多角的な意見、ニーズを踏まえ事業評価者による評価を行い、次年度以降の事業へ反映させていきます。

〈第28回出雲総合芸術文化祭事業実施計画〉

事業区分	公演等事業名	会場	開催月日（予定）
鑑賞事業	航空中央音楽隊コンサート in 出雲	出雲市民会館	5月5日（木・祝）
	神田伯山 独演会	平田文化館	8月6日（土）

	オペラシアターこんにゃく座 オペラ「森は生きている」	出雲市民会館	12月3日(土)
自主事業	将棋フェスティバル	弥生の森博物館	調整中
	出雲囲碁フェスティバル	大社うらら館	8月20日(土)
	第19回いずも音楽コンクール	ビッグハート	11月12日(土) 13日(日)
	第20回いずも新春コンサート	ビッグハート	1月8日(日)
	神在ガラコンサート(仮)	ビッグハート	10月30日(日)
	神話ってなあに(仮)	調整中	調整中
	スーパー神楽(令和3年度からの振替公演)	出雲市民会館	1月15日(日)
共催事業	NHK 公開収録	大社うらら館	調整中
	宝くじ文化公演 秋川雅史&杜の音シンガーズ	大社うらら館	1月28日(土)
	H ZETTRIO ジャズコンサート	出雲市民会館	調整中
	笑い飯 漫オツアー	出雲市民会館	調整中
	英国近衛軍楽隊コンサート	出雲市民会館	11月26日(土)
	第18回サウンドフェスタ大心路	ビッグハート	調整中
	第12回出雲神在月市民芸術文化の祭典	調整中	調整中
	出雲邦楽邦舞の会 いずも音・舞 5周年記念	出雲市民会館	12月18日(日)



航空中央音楽隊



英国近衛軍楽隊



将棋フェスティバル【指導対局】



新春コンサート



出雲囲碁フェスティバル



サウンドフェスタ大心路

(2) 出雲芸術アカデミー事業

開設から18年目を迎える出雲芸術アカデミーは、芸術文化に触れ、学ぶ機会の提供、創造性、感性豊かな青少年の育成、指導者の育成及び市民の芸術文化活動への参加促進のため、より充実した内容で事業運営に取り組めます。

「音楽院」では、幼児から高齢者までを対象に、器楽・声楽の講座を継続して実施し、その成果発表の場として演奏会を開催します。

また、「音楽研究院」では、講師の技術研鑽に努めるとともに、講師の活動として市内の幼稚園・保育所(園)、小中学校、病院、福祉施設等へのアウトリーチ活動を充実させ、合唱や楽器の体験、生演奏の鑑賞、演奏指導など音楽の普及啓発及び技術の向上を図ります。そしてアウトリーチ事業の集大成として平成30年度から始めた「夢いっぱい♪春まちコンサート」において、鑑賞者の育成や劇場の活性化にも繋げていきます。

「出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会」では、初めての企画として、地域出身の若手音楽家のソリストオーディションで選抜した人をソリストとし、また、オーケストラには出雲芸術アカデミー音楽院修了生等も加わることで、多彩な人材の活用や「音楽院」の活動の成果を地域に紹介します。

「第16回ファミリーコンサート」では、「音楽院」受講生の1年間の成果の発表の

場として、幼児科、本科、別科の演奏を行います。

そして、新型コロナウイルスの感染状況を判断しながらとなりますが、過去、東広島市等のジュニアオーケストラなどで行ってきた **Jr.フィル**交流演奏会を岡山市で実施する予定です。

また、コロナ禍のなかでも音楽に触れる機会を作るため、これまで音楽愛好者等から寄贈を受けたLPレコード（約2,500枚）と最新オーディオを使ってLPレコード鑑賞会に取り組みます。



アウトリーチの様子



出雲フィル定期演奏会



Jr.フィル定期演奏会



出雲フィル チェンバーオーケストラ

〈講座運営〉

科	コース（講座・対象）	定員
幼児科(通年)	「うたあそび」「うたなかま」(2歳児～5歳児及びその保護者)	90名
本科(通年)	音楽入門コース「キッズアンサンブル」(小学1年生～3年生)	15名
	合唱コース「キッズコーラス」「ジュニアコーラス」 (小学1年生～高校2年生)	40名
	オーケストラコース「弦楽器入門」「オーケストラ」 (小学生～高校2年生)	90名

別 科(通年)	合唱コース「コーラス・レパートリー」(18歳以上)	60名
	オペラコース「アクティング・クワイア」(高校生以上)	25名
	オーケストラコース「オーケストラ・レパートリー」 (18歳(高校3年生を含む)以上)	40名
	邦楽コース「邦楽合奏」(18歳(高校3年生を含む)以上)	20名

〈演奏会等事業〉

事業名	会場	開催月日(予定)
LPレコード音楽サロン2022 ※この他大社うらら館の自主事業としても実施	出雲交流会館	3回/年
第16回ファミリーコンサート	大社うらら館	4月16日(土)
幼児科「うたなかま」 本科「キッズアンサンブル&キッズコーラス」		4月17日(日)
出雲フィルハーモニー交響楽団 第25回定期演奏会	出雲市民会館	9月19日(月・祝)
福来たる! 出雲フィルハーモニー 夢いっぱい♪春まちコンサート	出雲市民会館	2月11日(土・祝)

・アウトリーチ活動

市内の幼稚園・保育所(園)、小中学校、病院、福祉施設等20か所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、生演奏や楽器体験、演奏指導などを行います。子どもたちの音楽芸術への興味関心を引き出し、創造性と感性を高め、人間性豊かな人材育成につなげるとともに、病院、福祉施設等においては、音楽による心身の活性化と情緒安定の効果への期待に応えるなど、出雲芸術アカデミーの裾野拡大に寄与します。

・指導者育成支援事業

音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。



レコード音楽サロン機器



特別主位研究(学術研究会)



本科キッズアンサンブル アカデミー音楽院受講生募集 本科弦楽器入門
&キッズコーラス

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局事務を担います。

* 《出雲メセナ協会について》

- ・ 設立：出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に平成10年に設立。(会員数216名 [R3.12末])
- ・ 主な活動：会員の会費を原資とした、出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援等。(芸術・文化活動財政支援事業、芸術家派遣事業、メセナ協会だより発行等)

* 平成23年度に出雲市から事務局を引き継ぐ。



出雲メセナ協会【財政支援事業】



出雲メセナ協会【芸術家派遣事業】

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）



出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、「出雲市芸術文化振興指針（第2次 令和3年度まで、新指針 令和3年度末策定予定）」及び国の「文化芸術基本法」（平成29年6月改正）、文化芸術推進基本計画（平成30年3月閣議決定）等を踏まえながら、出雲地方や日本の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、わが国と出雲文化の魅力を紹介するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる多様な事業展開に取り組みます。また出雲和文化交流会事業では郷土に伝わる生活文化や伝統文化に触れる事業を実施するほか、講座や教室等を開催して芸術文化の多面的な振興に努め、地域の芸術文化を推進するプラットフォームとなるよう努めます。あわせて事業や両館の様子などホームページやSNSなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を来館者によびかけ、感染防止を図ります。

(1) 展示事業

出雲文化伝承館及び平田本陣記念館では、出雲地方の豊かな歴史や芸術文化の人的、文化財的な資産の活用、継承、発展を目指します。令和4年度は多様な内容の展示事業として両館で10回の展覧会を開催します。

伝承館では「出雲の漆と金工の世界」などを開催し、郷土の優れた美術工芸を紹介します。本陣記念館では「はしもとみお展」などを開催し、子どもから大人まで楽しめる幅広い展覧会を行います。

そして展覧会にあわせ講演会、ギャラリートーク及びワークショップなどを企画して多面的に展覧会の内容を深めます。

また伝承館の出雲文化工房展示室では、平野勲氏の「日本の祭り」「出雲國神伝絵巻」などを展示します。

①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	開催期間（予定）	内 容
開館 30 周年記念 出雲の漆と金工の世界	4 月 1 日～ 5 月 8 日 《公開 34 日間》 (令和 3 年度からの継 続事業 46 日間)	出雲地方では松平不昧の指導で、絵師 や工芸職人らが育ち、多くの優品を製 作してきました。現在でも漆工の漆壺 斎や勝軍木庵は全国的にも高い評価を 得ています。本展では出雲地方の漆芸 と金工の優品を紹介します。
鳥屋尾敬洋画展	5 月 28 日～ 7 月 3 日 《公開 32 日間》	出雲市在住で、東光会審査委員、前東 光会山陰支部山光会会長を歴任される 鳥屋尾敬氏の画業を紹介します。氏の 魅力ある人物画や風景画の力作を展示 します。
ふわふわシナモロール 展	7 月 14 日～ 8 月 28 日 《公開 41 日間》	夏休み企画として、サンリオのキャラ クターとして人気の高いシナモロール 展を開催します。雲の上で生まれたシ ナモロールは、カフェの看板犬として 活躍しています。愛らしいキャラクター をお楽しみください。
石鼎と出雲の俳人	10 月 8 日～ 11 月 27 日 《公開 45 日間》	出雲市出身で、大正から昭和前期にか けて全国で注目された俳人、原石鼎の 俳句や俳画を展示します。あわせて郷 土ゆかりの俳人たちも紹介します。
人物からわかる出雲の 歴史	1 月 7 日～ 2 月 26 日 《公開 45 日間》	出雲市の政治、経済、文化などのさま ざまな分野で活躍し当市の発展に尽く した人々を紹介して、郷土の歴史を振 り返ります。
新見美術館名品展	3 月 18 日～ 3 月 31 日 《公開 12 日間》 (5 月 7 日までの継続 事業 44 日間)	岡山県新見美術館所蔵の作品から、お もに江戸～明治時代の掛軸などの秀作 を展示します。平田本陣記念館との同 時開催です。



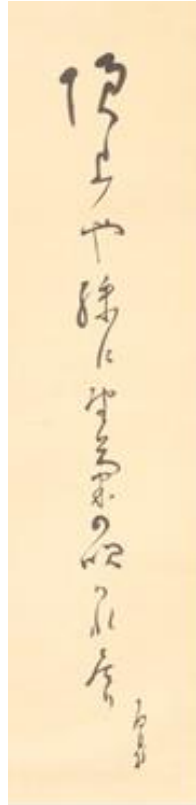
出雲の漆と金工の世界



鳥屋尾敬洋画展



ふわふわシナモロール展



石鼎と出雲の俳人



新見美術館名品展



人物からわかる出雲の歴史
大梶七兵衛画像

②平田本陣記念館

<p>はしもとみお展 —いきものたちの言葉—</p>	<p>4月1日～ 6月26日 《公開 75日間》 (令和3年度からの継 続事業 99日間)</p>	<p>はしもとみお氏は兵庫県に生まれ、15歳の時阪神淡路大震災にあい、将来の夢をそれまでの獣医から「動物の命」をテーマとする芸術家に変更し東京造形大学、愛知県立芸術大学で彫刻を専攻しました。心を込め命を宿した動物たちの木彫を展示します。</p>
--------------------------------	---	--

一条ゆかり展	7月16日～ 10月16日 《公開80日間》	1968年『りぼん』でデビューした一条ゆかり氏はそれまでの少女漫画の定説を覆し、異色のストーリーで多くのファンの心をつかみました。代表作「デザイナー」「砂の城」「有閑倶楽部」をはじめとする約50年の画業を紹介します。
出雲の偉人たち —平田、斐川を中心に—	11月12日～ 1月22日 《公開57日間》	出雲市では政治・産業・教育・文化などさまざまな分野において、数多くの偉人を輩出してきました。本展では、平田、斐川を中心に、郷土に尽くした先人たちの足跡を紹介します。
新見美術館名品展	3月18日～ 3月31日 《公開12日間》 (5月7日までの継続 事業44日間)	岡山県新見美術館所蔵の作品から、おもに近現代の掛軸、絵画などの秀作を展示します。出雲文化伝承館との同時開催です。



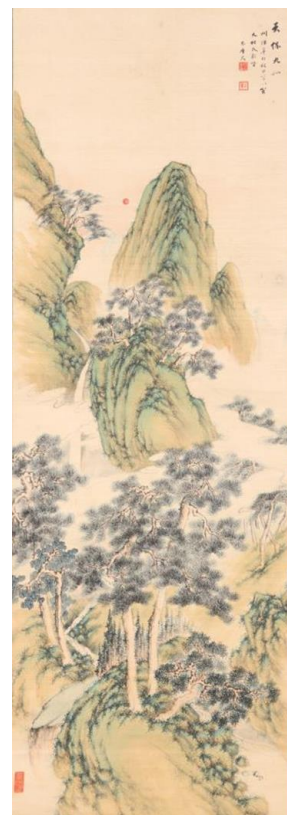
はしもとみお展



一条ゆかり展



新見美術館名品展



出雲の偉人たち

(2) 出雲和文化交流会事業

出雲文化伝承館では、出雲和文化交流会との共催で茶道、華道、邦楽邦舞など伝統文化に親しむ体験教室や体験イベントを開催します。



茶道体験教室



日本舞踊体験教室

(3) 郷土資料調査活用事業

出雲文化伝承館、平田本陣記念館が寄贈、寄託を受けた歴史、文芸資料の整理、目録作り、撮影、解説を行い、今後の展示事業への活用を図るため調査、研究、整理を行います。

平成 27 年度から本陣記念館蔵の木佐家文書を整理しており、また他家の古文書についても調査活用を行います。

(4) 呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を味わっていただきます。あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等に連携支援し貸出します。



呈茶事業

(5)文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と活用を図り、出雲流庭園、独楽庵及び松籟亭と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。

また、平田本陣記念館では、県内では稀に残る御成り座敷と、米国の日本庭園専門誌においても評価された庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、引き続き学校の授業で来館する市内小学校児童へ民具の解説を行います。

あわせて両館では市民所蔵の美術品等の保存活用等について、専門的な支援を行います。



伝統建築について（出雲文化伝承館）



民具について（平田本陣記念館）

(6)共催事業

出雲文化伝承館 第31回 早春の茶会 令和5年3月に開催予定

主催 早春の茶会（表千家、裏千家、三斎流、不昧流不昧会、香道御家流）

3. 貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体による上質な演劇・演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸出しに努めます。

また、各施設建設後の年数が経過しており、耐用年数が過ぎた舞台設備等の計画的な改修について出雲市にお願いするとともに、建物、設備、備品いずれも保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適切に行うなど維持管理が特に重要となってきています。

(1) 出雲市民会館



出雲市のメインホールである1,210席の大ホール、大小会議室、展示室、多目的室など、地域の文化センターとしてご活用いただいております。引き続き、催し物・会議・展示会など利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

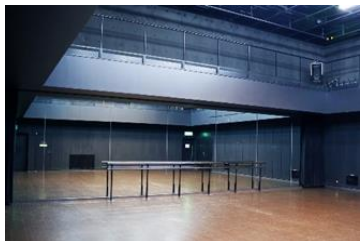
大ホールの更なる有効活用と来場者の増加を図るため、自主事業の取組を推進します。市民会館に親しみを持っていただけるような催し等を実施予定です。

(2) ビッグハート出雲



JR駅、一畑電鉄駅に近接した利便性の良い場所に立地しており、市民参加型の催しに適した規模である白のホールを始め、舞踊・ダンス・会議など多種多様な利用ができ

る黒のスタジオ、音楽練習・講演会など幅広い利用が可能な茶のスタジオ、各種作品展示・商品販売などに最適なアートギャラリーなど、多彩な機能を擁していることから、今後も芸術文化活動だけでなく、学会、研究会、打ち合わせ会などの会議などにもご利用いただけるよう努めます。



(自主事業)

日頃、施設を利用し様々な芸術文化活動を行っていただいている市民団体の発表の場を提供することにより、芸術文化や施設への理解を深めてもらう契機とし、市民の芸術文化活動への参加や施設の利用促進につなげていきます。

(3) 平田文化館



プラタナスホール（大ホール）は、講演会や展示会、コンサートなど、雲州平田文化協会加盟団体を中心に地域の文化活動の拠点としてご利用いただいています。

また、自由な座席設定ができる電動移動観覧席を有しており、座席を収納したフラットなスペースを活用したパーティーや軽運動など、多様な催しに幅広くご利用いただけます。

このほか、小ホールや会議室等も備えており、多目的に利用できるホールの特徴等を活かしながら、利用の促進に努めます。

(4) 大社文化プレイスうらら館



600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内

の中規模文化施設として、利用者の皆様のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう取り組みます。

また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴を生かし、地域の文化拠点として親しみをもって使っていただけるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら業務を推進します。

(自主事業)

多様な音楽に触れる機会を作るため、大社地域の音楽愛好家をはじめ広く出雲市民にも呼びかけ、文化事業課と連携して「大社文化プレイスうらら館LPレコード鑑賞会」に取り組みます。

(5)出雲文化伝承館



出雲屋敷、茶室「松籟亭」、茶室「独楽庵」、企画展示室、出雲文化工房及び縁結び交流館の貸出しについて、利用者の皆様のご要望にお応えしつつ、出雲文化の伝承・継承を図る目的に沿い適切に対応することとし、多様で特色ある施設を有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(自主事業)

出雲文化伝承館の特徴を生かして、文化講座や体験教室、クラシック鑑賞とお抹茶体験を開催します。

《各種教室・講座等》

① 出雲流庭園講座

出雲流庭園の特徴や歴史などの講座の後、普段は入れない庭園を歩きながら説明を聴きます。

② 掛軸の取扱い方教室

当館学芸員により掛軸の掛け方、収め方及び保管方法を学びます。

③ 苔リウム教室

日本庭園に欠かせない苔を使って、小さな器に日本庭園を造ります。

④ お屋敷でクラシック

出雲芸術アカデミーとの共催で、出雲屋敷でクラシック音楽を鑑賞した後、茶室で抹茶をいただくこととし、「和」と「洋」の芸術文化を一緒に体験します。

《多様な施設の活用》

出雲文化伝承館は、市指定文化財の「出雲屋敷」、博物館機能を有する「企画展示室」、茶席体験ができる茶室「松籟亭」、不昧公ゆかりの茶室「独楽庵」、出雲そばの「そば処」、多目的ホールの「縁結び交流館」、陶芸などができる「文化工房」など多様な施設を有しています。これらの多様な施設をいかして、文化芸術の保存・継承、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習、国際交流活動、ボランティア活動や観光の拠点などとして、行政や関係団体等と連携のもと幅広く施設の有効活用に努めます。

(6) 平田本陣記念館



出雲の歴史と文化に包まれた特色あるこの施設の本館、展示館、茶室(悠々庵)の公開と貸出しについては、利用者のご要望に即して有効にご利用いただけるよう取り組みます。

(呈茶事業)【再掲】

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲流の日本庭園を鑑賞しながら、お抹茶を味わっていただきます。

(自主事業)

伝統文化の普及と継承を目的に引き続き子ども・親子教室、一般対象の教室などを開催します。

また、地域の皆さんに当館を親しんでいただき、展示館への誘客として地元の方や地域で活動している作家の発表の場として、本館展示「ミニギャラリー」を企画します。

《各種教室・講座》

①こども・親子教室

夏休み・冬休みを中心に書道、茶道及び生け花など日本の文化、工芸を体験する教室

を開催します。

(書道教室、親子茶道教室、親子いけばな教室など)

②文化講座 (一般対象)

掛軸の取扱い方教室では、掛け方、収め方及び保管方法を学びます。また、日本の文化を体験する教室などを開催し、その理解や普及を図ります。

(掛軸の取扱い方教室、茶道教室など)

(7)管理施設の概要

管理施設名	主な施設	利用案内
出雲市民会館 (塩冶有原町 2 丁目 15) TEL 24-1212	大ホール(1,210 席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243 m ²)	各種作品等の展示ほか
	多目的室(82 m ²)	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5 室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用
ビッグハート出雲 (駅南町 1 丁目 5) TEL 20-2888	白のホール シューボックス型(441 席) プロセニアムアーチ型(341 席)	コンサート、演劇、学会、講演会、研修会、各種教室・学校の発表会、音楽練習ほか
	アートギャラリー(263.78 m ²)	各種作品展示、商品販売会ほか
	黒のスタジオ(139.48 m ²)	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	茶のスタジオ(122.47 m ²)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	応接室(27.33 m ²)	会議、学習会など
	レセプション(91.21 m ²)	会議、研修会、レセプションほか
	スタッフ控室(31.23 m ²)	控室、打合せほか
	会議室(60.67 m ²)	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m ²)	各種楽器練習、バンド練習ほか
	文化サロン(183.50 m ²)	市民、各種団体のミーティング、作業、相互交流の場ほか

平田文化館 (平田町 2112 - 1) TEL 63-5030	プラタナスホール(406 席 ～779 席、572.2 m ²)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、 作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動 場
	小ホール(100 席、144 m ²)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、 絵画作品展
	会議室(2 室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)
	和室(2 室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
	応接室	小会議、控室(楽屋)等
大社文化プレイス うらら館 (大社町杵築南 1338 - 9) TEL 53-6500	だんだんホール(600 席)	コンサート、演劇等各種公演、伝統芸能、式 典、講演会、音楽練習ほか
	ごえんホール(200 席)	講演会、研修会、作品展示、音楽練習ほか
	会議室(3 室)	会議、研修会ほか
出雲文化伝承館 (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷(356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴、前撮りほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会ほか
	茶室「独楽庵」(33.15 m ²)	茶会、香会
	文化工房(438 m ²)	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、特別展等
	縁結び交流館(503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダン ス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) TEL 62-5090	本館	生け花展、茶会、地域イベントほか
	展示館	企画展、美術品等展示
	茶室	茶会ほか

IV 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出しを収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めます。

1. 貸館事業

(1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

(2) ビッグハート出雲

ホール、控室、アートギャラリー、スタジオ、レセプション、会議室、応接室、練習室、文化サロン

(3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室、応接室

(4) 大社文化プレイスうらら館

ホール、楽屋、会議室、テラス

(5) 出雲文化伝承館

展示室、茶室、出雲屋敷・出雲流庭園等、多目的ホール、文化工房

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2) 企画展等において、受託販売物や図録等の販売を行います。

3. 大社図書館管理事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である出雲市立大社図書館の建築物及び設備機器の保守管理、清掃、保安警備業務などを適正かつ効率的に行います。